

樟葉宮(枚方)で即位

# 継体天皇の時代

## 今城塚古墳(高槻)から探る

巨大古墳の終幕とともに6世紀初め突如として登場した継体天皇。樟葉宮での即位後、25年のうち20年を淀川・木津川沿いに宮を構えた。その陵墓を宮内庁は太田茶臼山古墳(茨木市)とするが、古文書や発掘調査から研究者の多くは今城塚古墳を真の継体陵と考える。今城塚から見えてきた継体時代とは。

写真は出土した埴輪群(レプリカ)＝今城塚古墳  
下は太田茶臼山古墳(現、継体天皇陵)＝茨木市



2020年

2月 4日(火) 異色の出自と即位—なぜ今城塚が真の継体陵か

2月 18日(火) 日本の兵馬俑—出土した埴輪群の解説

2月 25日(火) 磐井の乱と朝鮮派兵—船絵が語る水運事情

講師:今城塚古代歴史館特別館長 森田克行さん

(各回午後2時～3時半)

会場:淀屋橋マスターズ情報館(右図)

(大阪市中央区伏見町4-2-141)

WAKITA藤村御堂筋ビル地下1階)

＝地下鉄淀屋橋13番出口から南へすぐ

定員:各35人 参加費 各1000円 要申し込み

電話:080-9740-0101

E-mail:kansaiforum@gmail.com [大阪自由大学](#) [検索](#)

主催 一般社団法人 大阪自由大学

